

# あなたならどこを冷やす？

北区立堀船小学校 第5学年

## 1. 動機

今年の夏は、酉告暑と言われている。そのため、体のどこに熱さましジェルを当てたら、効率よく体が冷えるのか、そして風邪をひいた時、額に熱さましジェルをはると本当に体温が下がるのか調べてみたくなった。

## 2. 研究の方法

### 道具/材料

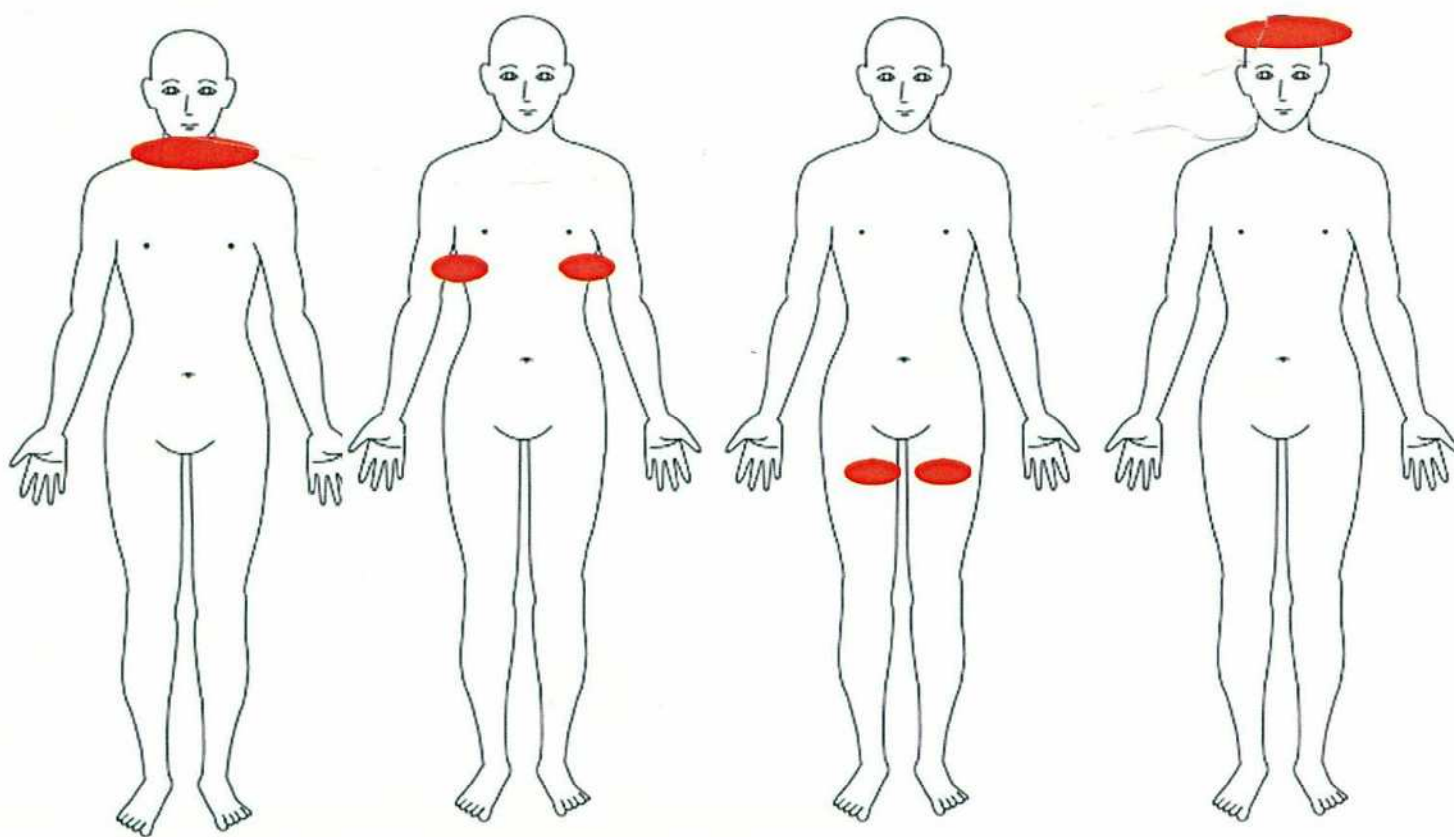
①熱さましジェル8個、体温計

### 進め方

①脇で平熱を測る(左右1回ずつ)

②熱さましジェルで首・脇・足の付け根・額を10分間ずつ冷やす。

③②を進めながら、3分後・6分後・10分後に脇の体温を測る。(左右1回ずつ)



## ルール

①より正確な結果を得るために2人実馬合を行う。

②体温を元に戻すために10分間身体を休める。

③熱さましジェルの影響を直接うけないように脇に当てる際は、体温を測る部位からずらす。

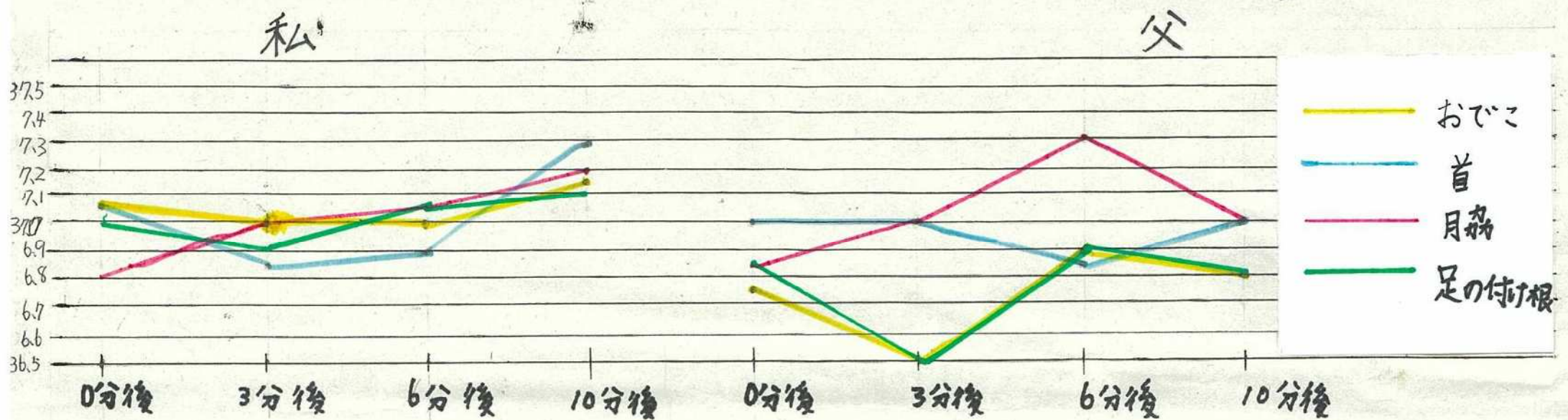


### 3. 仮説(予想)

私は首を冷やすと体温が交率よく下がると考えた。その理由は冬マフラーを巻くと体が温まるので首を冷やすと体が交率よく冷えるのではないかと考えたからだ。

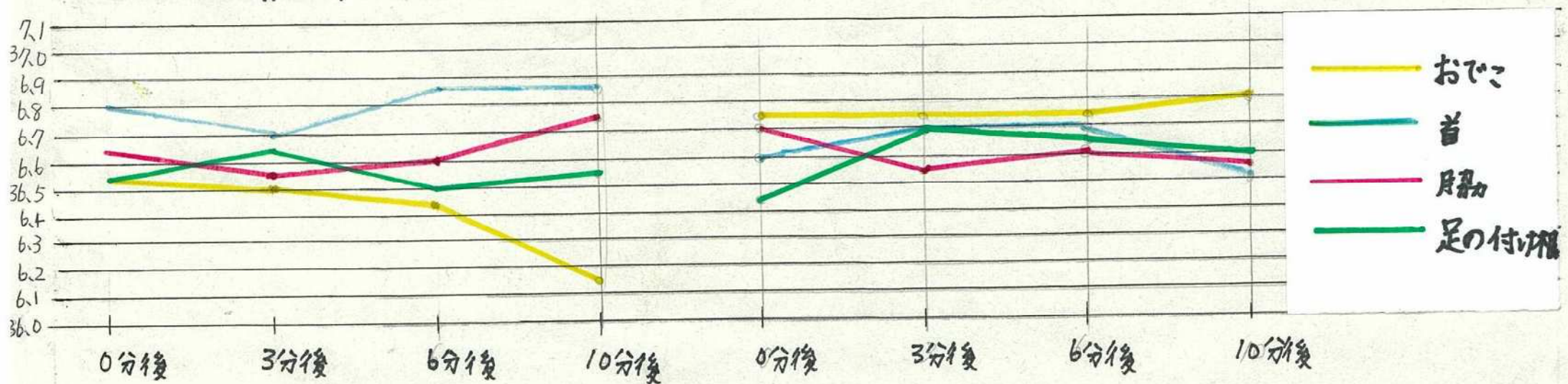
### 4. 結果

- ・首は体温が一度下がりその後体温が上がった。
- ・脇は体温が一度も下がらず上がった。
- ・私は0分後よりも10分後の方が体温が上がった。
- ・父は体温の上がり方や下がり方が大きかったが10分後の体温はほとんど変わらなかった。



### 5. 追加の実験

はっきりとした結果が得られなかった原因は熱さましジェルと比べより温度を下げる力が強いと思われる保冷剤(氷)で追加の実験を行った。その結果熱さましジェルとあまり変わらなかった。



### 6. 結論

首が交率よく下がると思ったが結果温度は上がった。またどの部位に当てても全体的に温度が上がる結果となった。健康な状態で体温を下げることは難しいのかもしれない。私は額に保冷剤をあてると交率よく体温が下がった。父は脇に保冷剤をあてると交率よく体温が下がった。このことから人によって保冷剤を当て体温が下がる部位は違うということがわかった。